

1.授業について

教育実習が始まる前に全8回の指導案を作成してから実習に臨んだため、実習が始まってから指導案に追われることはなく、余裕をもって実習に取り組めたと思う。ただ、当然指導案通りに授業が進むわけではなく、各クラスで進度が違ったり、途中で授業方法を変えるなどの多少の手直しは行った。主に自分が黒板に板書してノートをとらせるという方法を予定しており、特に評論文ではノートに2,3行にわたってまとめを書くつもりになっていたが、実際に教室に行ってみると想像していたより黒板が小さかったのと、クラスによって黒板の大きさが異なっていたため、ノートに板書する量は最低限にしたり、プリントで補ったりという形で改善した。また、教科書に載っている写真だけではなく自分も別の画像を準備して生徒にイメージさせやすいように工夫をした。しかし、A4サイズでコピーしてしまっていたので、生徒たちの手元に回すかプロジェクターを使って前に大きく映し出すなどの工夫が必要だったと感じる。

最初の週は担当の先生に授業方法をまねて、教科書を読んで、自分が説明して、発問を投げかけて、板書するという方式をとっていたが、どうしても一方的な授業になっていた。担当の先生は「国語の授業ってそんなもんよ」と言ってくれたが、私の説明の時間が長くなればなるほど国語の授業特有の静かな雰囲気になってしまうのが、生徒たちにとって退屈になっているのではないかと思い、先生に相談して色々な授業方法にチャレンジさせてもらった。授業2週目からは、現代文・古典ともに学習プリントを使用し、生徒たちに作業させる時間を授業の中で多くとるように心がけた。また、ただプリントを埋めるのではなく、記述式にして少し難易度を上げて、周りの生徒と相談しながら取り組むように指示した。そうすることで最初の授業よりも教室内の雰囲気が活発なものになり、全員が授業に参加しているという雰囲気ができたので良かったと思う。

2.生徒との関わりについて

最初の週は体育大会があった関係で授業も少なく、クラスの生徒と関わることができる時間は毎日の終礼だけだった。終礼は実習2日目から任せてもらい、連絡事項などを伝えていたが、初日はなかなか生徒が静かにならず、自分の声が生徒たちに届いているのか不安だった。担当の先生に「生徒とコミュニケーションをとっておくと生徒たちはこっちを見てくれるようになるよ」とアドバイスをいただき、次の日からは終礼の前に色んな生徒と話すようにした。そうすると喋ったことのある生徒は私の目を見てしっかり話を聞いてくれるようになり、生徒と良い関係を築くことの大切さも実感した。毎週火曜と金曜には掃除があり、部活の話や勉強の話をして生徒と一緒に取り組んだ。また、終礼が終わった後には教室のドアの前に立ってクラスの子一人一人に「さようなら」と声をかけることを意識的に取り組んでおり、続けているうちに生徒の方からあいさつをしてくれるようになった。

1週目の金曜日に体育大会があったので、それに向けての準備などを通してたくさんの生徒と関わる

ことができた。前日の準備日には大雨が降ってしまい、当日の朝 6 時半に集合して自分たちもグラウンド整備を行ったが、多くの部活動の生徒たちが 7 時にはグラウンドに集まってきて積極的に準備を行っていた。準備は基本的に部活動単位で行っており、3 年生のリーダーシップのもと、1、2 年生も積極的に動いている姿が様々な所で見受けられ、自分たちも絶対に体育大会を良いものにしてあげたいと思った。競技が始まると普段教室ではみられない生徒の生き生きした表情を見ることができたり、クラスの団結力を身近で感じることができ、行事のおもしろさを実感することができた。

3.教職員との関わりについて

指導案や授業内容について、あまり細かい指導はなく、自分がやりたいようにやればよいよ、というスタンスの先生で放課後も遅くまで残っていらっしやらなかったのも、最初は授業の打ち合わせもほとんどない状態で授業を行っていた。ただ、研究授業が近づくにつれ不安になってきたので、無理を言って朝の職員朝礼が始まる前や放課後に質問に行ったり授業方法について相談をしに行き、丁寧なアドバイスをもらえるようになった。また、授業のことだけではなく、クラスの生徒と関わる機会がどうしても少ないので、HR の時間を任せてくださったり、早い段階から終礼を任せてくださったり、最終日には現代文の時間を丸々もらって自分の進路の話をする時間をとってくださるなどの数々の配慮をしていただいた。

教頭先生は毎日朝と帰りに「実習どうですか？」と声をかけてくれて、実習生全員のことを気にかけてくださっていた。また、職員室を見渡すといつも一番忙しそうにしている教頭先生だったが、多忙の中、研究授業も見に来てくださり、かなり長い時間をかけて丁寧に講評をしていただいた。他には自分が在学時に担任をしてもらった先生や授業を受けていた先生方にも大変気にかけてもらい、授業のアドバイスや今後の採用試験のこと、教師になった後のことなど、たくさんのことについて相談にのってもらい、先生方と話している時間は非常に貴重な時間だったと感じる。

4.今後の課題・展望

今回自分なりにかなり時間をかけて教材研究をして行ったつもりだったが、実際に授業をしてみるとその教材に書いてある内容だけを伝える授業になってしまい、授業内容をそれ以上広げることができず、おもしろくなかったと強く感じた。先生方は教材の内容から発展させて話を広げたり、生徒たちに身近な具体例を挙げてわかりやすくするなど、生徒たちの興味・関心を上手く引き出しながら授業をしていたので、自分もそんな授業を目指したいと思った。そのためには国語だけでなく色々なことに興味を持つことと、たくさん本を読むことが大事だと担当の先生にアドバイスをいただいたので意識的に心がけたいと思う。